

## 株式会社 IMAGICA TV 第 8 回番組審議委員会議事録

開催日： 2012年3月28日(水) 11:30より  
開催場所： マキシム・ド・パリ銀座店  
出席者： 審議委員：池ノ辺直子、川上エリカ、草場滋、高寺重徳、立川談慶、  
富澤一誠、森戸英幸、湯浅正敏（以上 50音順、敬称略）  
事業者：木戸英晶、伊藤明、大野茂、野村憲一、木村昌雄

議題： 『IMAGICA BS』、『食と旅のフーディーズ TV』、『歌謡ポップスチャンネル』の番組内容、編成内容について

### ■ 『IMAGICA BS』について

各委員から、以下の様な意見・質問がなされた。

- ・ 『IMAGICA BS』とはどのようなチャンネルであるのかが、まだ見えてきていない。上手く大人向けのクオリティの高いイメージを伝えることが出来ればと思う。
- ・ 『PAN AM／パンナム』は変に凝った邦題にせず、そのままのタイトルとしたことはインパクトがあって良い。商品化権を取得できなかったことが残念。
- ・ 『PAN AM／パンナム』のアメリカでの反響を伺いたい。
- ・ 単館系の良作を配給会社と協力して紹介するといったことは考えているか？
- ・ ヨーロッパの映画を良く見ていたので、(いい意味で) この様な作品を放送しているなど感じる。ただし、バランスは必要と思う。
- ・ オリジナルドラマが編成されているが、今後もこの様な作品を作る予定はあるのか？また、今後日本映画を放送する予定はあるのか？
- ・ 吹替版と字幕版は時間帯などを分けて放送しているのか？
- ・ テレビを見る楽しみ・面白さをどう伝えていくか。番組を通じて発信してゆけるものがあれば、テレビの楽しさが伝えられると思う。リアルタイムで同じ時間に多くの人が同じものを見るという楽しみ方はテレビにしかできず、SNSなどで実況風に盛り上がるなどの仕掛けをしてみたら面白いのではないか。

これに対して、編成側から以下の様な説明があった。

- ・ 掴みと引っ張りの作品編成バランスを重視し、視聴者にチャンネルイメージの浸透を図りたい。
- ・ 『PAN AM／パンナム』は実在した企業が舞台の為、リアルとフィクションの要素が上手く融合しイメージが形成出来た。米国での次期シリーズ制作は現在検討中とのこと。権利関係が複雑であったこともあり商品化権の取得ができず、グッ

ズ購入希望の要望に答えられないでいる。

- ・ 劇場と一緒に興業・放送一体となったプロモーションを実施することは充分考えられる。欧州系の作品を数多く紹介しているのは強み。
- ・ オリジナルドラマの制作はスポンサーの意向と制作側からの提案が具現化したもの。今後も年に数本はドラマの制作を行いたい。また、日本映画を紹介することも考えている。
- ・ 吹替版と字幕版の編成時間は替えており、視聴者ニーズは吹替版の方が多い。

#### ■ 『食と旅のフーディーズ TV』について

各委員から、以下の様な意見・質問がなされた。

- ・ 『世界の料理ショー』を見て、自分が子供の頃に見たのを思い出し楽しんでいる。このような番組が復刻したのは良いことだと思う。
- ・ 『世界の料理ショー』の画質は良くなるのか？

これに対して、編成側から以下の様な説明があった。

- ・ 上記番組の日本独占放送権を取得し、視聴者から好評を得ている。残念ながら現存するマスターテープが当時のものしかない為、画質は向上出来ない。

#### ■ 『歌謡ポップスチャンネル』について

各委員から、以下の様な意見・質問がなされた。

- ・ 『五木ひろし&都はるみ ジョイントコンサート』を見て、過去に撮られた貴重な映像に驚いた。また、復興のシーンの後に歌われた二人の歌に感動した。
- ・ 『オリコン演歌・歌謡トップ 20』でプロモーションビデオのない楽曲がランク入りすることもあると思うが、どのように対応しているのか？

これに対して、編成側から以下の様な説明があった。

- ・ 高齢者の方はコンサート会場に足を運ぶことができないケースもあり、こうした貴重なコンサート番組はキラークンテンツとして、放送し続けてゆきたいと考えている。
- ・ プロモーションビデオのない楽曲を紹介する場合、風景映像を背景に CD ジャケットと歌詞テロップを表示し放送、データの正確性を遵守している。

以上